

ひろげる
つなぐ
かえる

市民活動・ ボランティア ニュース

2010
2

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワーカーズコープ
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2010年1月25日発行
通巻134号

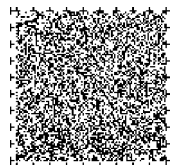


真価を問う

NPOでは、事業年度を3月で区切っているところが多いのではないだろうか。そうした団体にとって、2、3月は重要な時期だ。そろそろこの1年間の状況を総括し、次の年度の事業計画を立てなければならぬ、まさに真価が問われるときと断言していい。鳩山さんも3か月のハネムーン期間をすごして、いよいよ正念場だ。

達成したいことは何か、取り組むべきことは何か、そのための十分な話し合いをしたいものだ。知恵を出し合うなかから次へ進めるための確信が生まれる。

右の様子はSPコードと呼ばれる
バーコードで、専用の読取機で
音声を聞くことができます。



三重県NPOグループからお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体

認証申請団体

- 認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
 - (1)ジャパンサポートフォーラム(2)山内康俊(3)度会郡大紀町錦346番地8
 - (1)水耕栽培福祉普及協会(2)青木文男(3)伊賀市法花3618番地
 - (1)NGO国際総合支援協会(2)松岡 均(3)伊賀市山出字金坪1559番地の3
- (平成21年12月10日～平成22年1月9日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 志摩総合サービス(平成21年10月9日)
 - 日本改革国民会議(平成21年12月2日)
 - いなべ市文化協会(平成21年12月8日)
 - IGU(平成21年12月17日)
 - べがさず(平成21年12月22日)
- (平成21年12月10日～平成22年1月9日届出分)

みえ市民活動ボランティアセンターからお知らせ

広報セミナー「プレスリリースのはじめ方」

- とき／3月6日(土)13:00～16:00
 - ところ／アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
 - みえ県民交流センター ミーティングルームA&B
 - 受講料／500円
 - 内容／講師にはOur Plant TV 池田佳代さんをお招きし、新聞やマスメディアに取り上げてもらえるリリース文の書き方を中心に講義を受けます。
- その後、実際に文章を書いてお互いに評価し合います。今まで自分が書いていた文章との違いを実感できること間違いなしです。対象は企業や市民活動団体・NPO法人等の広報担当者です。
- 募集人数／20人(先着順)
 - 申込方法／受講料を添えて3月1日(月)までに窓口で申込み。定員に達し次第締切。



協働シンポジウム

- とき／3月13日(土)
 - ところ／アスト津3階・イベント情報コーナー
- ※詳細は次号でお知らせします。お楽しみに。

NPO無料よろず相談

毎回二団体先着順のため、相談日の一週間前までにお申し込みください。

- とき／毎月第一火曜日(祝祭日の場合は翌日)
- (1)10:00～11:00 (2)11:00～12:00
- 【今後の予定:2月2日、3月2日、4月6日】
- ところ／アスト津3階 みえ県民交流センター
- 相談員／みえ県民交流センター指定管理者 みえNPOセンター・ワーカーズコープ グループ代表 みえNPOセンター代表理事、同事務局長
- 対象／NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会 ～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【協働勉強会】●とき／2月17日(水)13:30～16:30

【交流会】●とき／3月9日(火)13:30～16:30

みえNPOセンター・ワーカーズコープ
問い合わせ先 Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net

イベントスケジュール

場の盛り上げ方【人マネ講習】

～つなぎ上手な世話人への近道～

- とき／2月6日(土)13:30～15:00 ●参加費／2000円
 - ところ／松阪市市民活動センター(日野町・カリヨンプラザ3階)
 - 内容／ファシリテーターやコーディネーターという難しいイメージの立場ではなく、ミーティングの進行役や飲み会幹事のような「身近で」「ゆるやかで」「すぐに役立つ」スキルアップを目指します。アナタを含めた参加者(知らない人同士)が座ったテーブルを、講師(世話人)がうまく盛り上げてくれます。世話人の盛り上げる方法をうまく盗み取ってください。講師はスゴレン(株)代表取締役の山場康弘さんです。
- なお、受講者の中で希望があれば2月27日(土)に「スキルアップ体験」ができます(先着順)。講習と同じような場を用意し、世話人役をマネて実施してもらいます。この体験は有償ボランティアです。謝礼は1日3000円。会場は松阪駅前界隈です。
- 申込方法／件名を「場の盛り上げ方・講習参加希望」とし、住所、名前、年齢、Tel、Fax、E-mail、スキルアップ体験希望の有無を記入し、FaxかE-mailで申込み。
 - 問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当/米山)
Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803
E-mail info@m-bridge.jp
ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

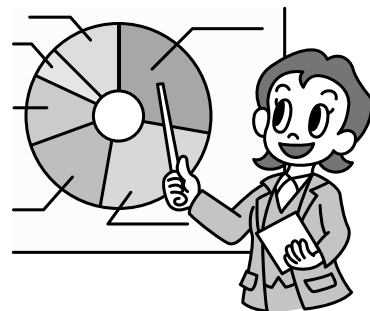
出会える!見つける! 開発教育・国際理解教育 ★実践報告フォーラム2010

- とき／2月7日(日)9:30～受付 10:00～16:40
- ところ／JICA中部なごや地球ひろばセミナールーム(名古屋駅から徒歩10分、ささしまライブ駅から徒歩3分)
- 参加費／無料 ●募集人数／100人
- 内容／今年度JICA中部とNIEDが協働で提供した開発教育指導者研修と教師海外研修(ブラジル・フィリピン)の参加者は、研修の成果をどう各自の現場に活かしたのか、さらにそこからつながる実践後の「評価と改善」のプロセスを、「参加型」で報告し体験するフォーラムです。
- 申込方法／申込先着順。空席があれば当日参加も可
- 協働・問い合わせ先／(特活)NIED・国際理解教育センター
Tel.052-789-1551 Fax.052-781-5779
E-mail nied@love-hug.net
ホームページ <http://nied.love-hug.net/>
川合 Tel.070-5641-4933(当日・前日のみ)
- 主催／JICA中部

企画力をアップして企業と協働しよう!

企業・市民・NPOコラボ400 NPO向け講座 【STEP3】効果的なプレゼンへチャレンジ!

実際に作成した企画書をもとに、効果的なプレゼン方法を学びます。
互いにプレゼンすることで、見せ方・アピールの仕方を身に付け、本番に備えましょう。
コーディネーターはPSC代表理事の岸田真代さん。



【1 講義】

プレゼンテーションの基礎知識 / プレゼンテーションで気を付けること / 企業は提案のどこをみているか

【2 発表・講評】

希望団体によるプレゼンテーション / 実践に向けたアドバイス / 個別コメント・全体講評

講師 山崎英夫さん

(広告・企画・制作会社チーフプロデューサー)

世界デザイン博 FMデポ ミュージックディレクター
(株)ヒューマンフライト入社(映像ディレクター)
(株)ソーリス入社(イベントプロデューサーとして多数のイベントをプロデュース)
CBCラジオ「無国籍ラジオ」メインパーソナリティ
(有)デバイス 取締役就任(デジタルコンテンツ会社非常勤役員)
(株)ソーリス 取締役就任
博覧会、キャンペーン、イベント、式典、展示会、落語イベントなど多種多様なプロジェクトを企画・プロデュースし、現在に至る。

- とき / 2月13日(土)13:30~16:30
- ところ / アスト津3階 みえ県民交流センター
- 参加費 / 無料
- 募集人数 / 25人
- 申込方法 / 1週間前までに住所、氏名、所属、連絡先などを明記の上、申込先へFaxまたはE-mail。
- 申込先 / (特活)みえNPOセンター
Tel.080-2619-9342(事務局) Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
- 問い合わせ先 / 企業・市民・NPOコラボ400運営委員会事務局
[(特活)パートナーシップ・サポートセンター(PSC)内]
Tel.052-762-0401 Fax.052-762-0407
E-mail info@psc.or.jp

人形劇団「ひぼぼたあむ」講演会と人形劇

- とき / 【講演会】「子育て講演会:思春期編」
2月11日(木)18:30~20:30
「人形劇の世界から子どもの育ちをみつめて」
2月12日(金)10:00~12:00
- 【人形劇】「チップとチョコ」
2月13日(土)11:30~12:10、14:00~14:40
- ところ / 四日市市勤労者・市民交流センター東館
- 参加費 / 【講演会】各1000円
【人形劇】前売2000円 当日2500円
- ※人形劇を鑑賞する方は講演会が500円になります
- 内容 / 幼児から思春期までのお子様をお持ちの保護者の方に向けての講演会と、大人も子どもも楽しめる人形劇を開催します。
- 申込・問い合わせ先 / 四日市まんなか子ども劇場
Tel.&Fax.059-351-6670
- 主催 / 子ども文化NET



- ところ / 尾鷲市福祉保健センター
- 内容 / ボランティア・市民活動グループによる活動発表や展示を開催。模擬店やバザー、体験コーナーなどもりだくさん!
- 問い合わせ先 / 尾鷲市社会福祉協議会 尾鷲市栄町5-5
Tel.0597-22-3246 Fax.0597-22-3402
- 主催 / 尾鷲市ボランティア連絡協議会

第4回「川のワークショップみえ」

- とき / 2月21日(日)12:30~17:30
- ところ / 三重県庁「講堂」
- 参加費 / 無料(事前申込不要)
- 内容 / 「川のワークショップみえ」は、水辺や山川海に関する活動をしている方々が、その内容を発表し、お互いを讃え合うことにより、さらなる活動の発展や連携のきっかけにしておうと開催するものです。
この機会に、様々な活動の発表を見聞きし、意見交換する場をとおして、あなたの新たな取り組みを探してみませんか。
- 問い合わせ先 / 川づくり会議・みえ(事務局:久世)
Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp
ホームページ http://kawamie.iinaa.net/
- 主催 / 第4回「川のワークショップみえ」実行委員会
(実行委員長:朴 恵淑)

ボランティアまつり「紹介します!いろんな活動!!」

- とき / 2月21日(日)10:00~15:00

子どもの権利フォーラム

マタニティフェスティバル

- とき／2月27日(土)13:00～17:00、
28日(日)10:15～16:00
- ところ／三重県総合文化センター フレンテみえ
(津市一身田上津部田1234)
- 参加費／18歳以下無料、19歳以上1500円
※参加費は2日間有効。分科会によっては別途参加費が必要。
交流会も別途参加費、申込が必要
- 内容／テーマは「子どもの権利は胎児から、子育て・子育て・子ども参画へ」。

「子どもの権利」は乳幼児期、もっとさかのぼってお腹の中にいる時から始まるのではないのでしょうか。この機会にたくさんの方と「安全・安心・快適なお産」「子どもの権利」「とぎれのない支援」について、考え、実践につなげます。



当日は講演のほか、カナダの子育てプログラム「ノーバディズ・パーフェクト」や妊娠期からの楽しいふれあい遊びなど、さまざまな分科会が開催されます。詳細はお問い合わせください。

- 応募締切／2月10日(水)
- 申込方法／氏名、年齢、電話(携帯)、参加希望分科会番号、交流会参加希望を記入し、ハガキ、Fax、E-mailで下記まで。
- 申込・問い合わせ先／子どもの権利フォーラム・マタニティフェスティバル実行委員会事務局 514-0125 津市大里窪田町2709-1 (特活)三重県子どもNPOサポートセンター(特活)チャイルドラインMIEネットワーク内
Tel.059-232-0270 Fax.059-232-0271
E-mail mie-kodomo-npo@za.ztv.ne.jp

2009年度 第4回

日本笑い学会みえユーモア支部笑例会

『イメージと笑いヨガで笑って春を呼びましょう』

- とき／2月27日(土)13:30開場 14:00～16:30
- ところ／アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
イベント情報コーナー
- 参加費／800円(会員は無料)予約・申込不要
- 内容／三重笑いヨガクラブと初のセッション。生活ヨガの中からイメージを使った身体を健康に保つ「イメージによるボディワークショップ」を行い、その後、笑いヨガで楽しめます。
- 問い合わせ先／中村 Tel.& Fax.059-232-6409
E-mail fu-min.64@s6.dion.ne.jp

ラフター(笑い)ヨガリーダー養成講座

- とき／2月27・28日(土・日)9:30～17:00
- ところ／アスト津3階イベント情報コーナー
- 応募締切／1月31日(日) ●申込み／必要

笑いヨガクラブ

- とき／第2・4金曜 9:30～10:30
- ところ／アスト津4階 和室
- 参加費／無料(歓迎寄付)
- 申込み／必要
- 主催・申込先／三重ラフター(笑い)ヨガクラブ
Tel.& Fax.059-230-4077
E-mail dna-rumi@mve.biglobe.ne.jp

第22回あけぼのサロン(おしゃべり会)

「あなたは一人ではありません」

- とき／3月1日(月)12:00～ ●参加費／300円
- ところ／伊勢市観光文化会館3階会議室
(近鉄宇治山田駅前)
- 内容／乳がん体験者の方ならどなたでも参加できます。初めての方も勇気を出して参加してください。ランチは持参で。
- 申込・問い合わせ先／小野節子支部長
Tel.090-2944-4773
- 主催／乳がん体験者の会 あけぼの会三重支部

よびかけ・報告

企業の皆様へ

『CSRレポート』の収集にご協力をお願いします!

松阪市市民活動センターでは、県内企業の発行するCSRレポート(環境報告書・社会貢献活動報告書)の収集を、さらに力を入れてまいります。

CSRレポートを発行されていらっしゃる、ぜひ資料として、当方に1部お送りいただけませんか?

来館者が自由に閲覧いただけるように設置し、貴社のご活動を広くお伝えいたします。

現在、松阪市市民活動センターでは、2009年度版CSRレポートを208冊揃え、どなたでも自由に閲覧できるようにしてあります。県民の皆様も、どうぞお気軽に閲覧にお越しください。

- 送付先／515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階 松阪市市民活動センター「CSR収集」係
- 問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当:青木)
Tel.0598-23-8400 E-mail info@m-bridge.jp

「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」

登録者を募集します

三重県では、伊勢湾の再生につながる取り組みとして、愛知県・岐阜県・名古屋市にも呼びかけ、三県一市の統一行動として、「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を実施します。

実施内容につきましては、5月から7月頃に三県一市各地で行われる清掃活動等について取りまとめ、広くPRするものであり、多くの皆さんに参加いただくことにより、その活動が伊勢湾をきれいに行っていること、伊勢湾再生につながっているという認識を持っていただくことを目的としています。

なお、登録の際は、収集ゴミの処理方法について、受入れ市町との調整等を十分行った上でお願いします。

登録申込書をご提出いただいた団体については、当該活動について、リーフレットや県HP等で周知させていただきます。また、実施後は、参加団体による交流会も予定しています。

- 応募締切／3月10日(水)
- 申込方法／FaxかE-mailで登録申込書を提出。
- 問い合わせ先／三重県環境森林部水質改善室(担当:後藤)
Tel.059-224-2382 Fax.059-229-1016
E-mail mkankyo@pref.mie.jp
伊勢湾再生ホームページ
<http://www.eco.pref.mie.jp/isewan/>
三重の環境と森林ホームページ
<http://www.eco.pref.mie.jp/>

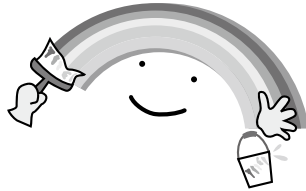
精神障がい者が当事者を支援する新事業 「虹のかけ橋」の賛同者の募集

発起人には入院経験があります。退院後、社会的適応力を身につけていくことは、とても心細く大変でした。「支援者に当事者がいれば、どれだけ気持ちがお楽になるだろう」と、毎回感じてきました。そして両親との同居生活から独立し、自立生活へ移り変わろうとする時、その思いはさらに強く抑えきれなくなり、この事業を立ち上げることにしたのです。

事業目的は、津市内に在住する精神障がい者および心の病の方を対象に、当事者が安心して暮らせるように応援することです。今回は、障害をお持ちでない方も含めてボランティアの賛同者を募集します。

【ピア・スタッフ】

ピアとは、同じ境遇(精神障がい者)である者を示し、友達感覚で話を聞いてあげたり元気づけたりします。



【運営スタッフ】

ホームページの作成や機関紙の作成・会計など、一緒に活動していただける方を求めています。

●問い合わせ先／発起人 野田 Tel.059-272-4805
ホームページ <http://vmz.jp/nigikake/>

パニック障害、摂食障害、強迫性障害、社会不安障害の当事者の 自助グループ Salon de “TRUE BEAUTY”

日常生活に生きづらさを感じていませんか? 悩みを抱えた人たちのグループであなたの悩みや問題を語り合いませんか?

●とき・ところ・参加費／2月5日(火)14:00～15:30
鈴鹿市社会福祉協議会2階 小会議室 参加費500円
2月26日(金)14:00～15:30
白子コミュニティーセンター実習室 参加費無料

●問い合わせ先／カウンセリングオフィス TRUE BEAUTY
(厚生労働省認可 上級心理カウンセラー:河西恭子)
Tel.090-1750-6245(受付時間平日10:00～20:00)

助成金 情報

(株)デンソー デンソーエコポイント制度(通称:DECOボン) 地域還元事業「地域の環境活動への助成」

- 受付締切／2月20日(土)消印有効
- 助成の対象となる団体／愛知県・三重県内の小中学校及び、非営利団体・グループ(5人以上/法人格の有無は問いません)。
- 助成の対象となる活動/以下の条件をすべて満たしていること。
 - (1)地域の環境改善や保全に役立つ実践活動
 - (2)子どもやその家族が積極的に楽しく参加できる活動
 - (3)デンソー社員やその家族、地域の住民が参加しやすい活動
 - (4)愛知県・三重県内で実施される活動
 - (5)2010年6月1日～11月30日の期間中に実施される活動

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象: 三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>

三重銀行

〈広告〉 5

- 助成の額／1団体10万円、最大8団体
- 応募方法／必要書類は下記のホームページからダウンロード。提出はE-mailまたは郵送。
- 問い合わせ先／環境省中部環境パートナーシップオフィス(担当: 鶴飼、新海)
460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル4階
Tel.052-218-8605 Fax.052-218-8606
E-mail office@epo-chubu.jp ホームページ <http://www.epo-chubu.jp>
デンソーエコポイント制度に関するホームページ
<http://www.denso.co.jp/ja/csr/social/social/decoPON/>

(社)全日本冠婚葬祭互助協会 第11回社会貢献基金

- 受付締切／2月末日必着
- 助成の対象となる団体／非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象)又は大学、研究機関(個人も可)。(個人資格による申請については、研究助成分野以外は対象外)
- 助成の対象となる活動／(1)研究助成事業…テーマ「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」
(2)高齢者福祉事業…心身の機能が低下した高齢者などを対象に、一般的な在宅福祉対策で対応困難な分野や従来の施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。または、ニーズの高さや地域の実情に照らし必要と認められる高齢者の自己実現・自己表現を図るための支援活動や福祉活動。
(3)障害者福祉事業…重複障害、難病に起因する障害を持った障害児・者を対象に、一般的な在宅福祉対策では対応困難な分野や従来の諸施策等では十分福祉の推進が図られていない分野での支援活動。または、ニーズの高さや地域の実情に照らし必要と認められる障害児・者の自己実現・自己表現を図るための支援活動や福祉活動。
(4)児童福祉事業…保護者等が死亡又は著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の児童、引きこもり、不登校の児童を対象とした支援・慰問活動、その他児童の健全育成等に関するボランティア活動。
(5)環境・文化財保全事業…日本国内における植林、野生生物保護、公害防止等の活動、地域の住民の参加を経て行う文化財保護活動、リサイクル活動その他地域住民にとって重要な意義を有する実践活動。
(6)国際協力・交流事業…開発途上地域、紛争地、被災地における、医療活動、食料・物資援助、教材・学校建設など人材育成を目的とした国際協力・支援活動。国際交流を目的とする事業(懇親会・パーティー等は対象外)
- 助成の額／総額およそ1000万円。1件当たりの助成額上限は200万円。但し、研究助成事業においては、上限100万円。
- 応募方法／募集要項はホームページにて閲覧可。申請用紙をダウンロードして作成のこと。応募書類の提出は郵送にて。
- 問い合わせ先／(社)全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局
105-0004 東京都港区新橋1-18-16 日本生命新橋ビル9階
Tel.03-3596-0061 Fax.03-3596-8030
ホームページ <http://www.zengokyo.or.jp/>

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。

- (1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。
- (2)送付はE-mail(ない方はFax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえぎん県民交流センター指定管理者:みえぎんNPOセンター「ワークスコープ」」に連絡してください。

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

〈広告〉

農村から「より良い生活」を 発信

……Agriロマン三重とはどういう組織で
すか？

12年前に名称を“Agriロマン三重”に
改めましたが、以前から県内の農村地域
を中心に生活改善実行グループという名
称で30年以上活動を続けていました。

……ミッションを教えてください。

元々は農家の生活、衣食住を改善するために、国の
施策により始まりました。その頃の農家は家が大きく
台所が土間になっていたりして体が冷える、トイレやお
風呂は家の外にあって不便だったり、食事も漬け物や
味噌など、農家で加工した物は塩分が多すぎて体のた
めに良くない。“衣”は作業着などですね。消毒時の
作業着も、今は市販の物で農薬が皮膚につかないよう
素材も工夫されたものがたくさんありますが、昔は自
分たちで作っていました。

Agriロマン三重になって、これまで自分たちが学ん
だことを自分たちだけのものにしておくのではなく、外
へ発信していこうという形に変わっていきました。こ
れまでは農家の女性が対象だったのが、一般の方たち
へと広がっていったわけです。

……県内の組織・ネットワークは？

県内各地に地区連があり、任意の地区連がAgriロ
マン三重に参加しています。現在、参加しているのは
桑名(員弁)、四日市、鈴鹿、津、伊賀(名張)、松阪の6地
区です。今から15年前までは東紀州も含め、県内北
から南までの多くの地区連が参加していましたが、高
齢化のため脱退されていきました。

活動としては地区連ごとに、農業体験や食育出前講
座、農業まつりなど、地産地消イベントへの参加、農産
加工品の開発をしています。Agriロマン三重全体で
行うイベントは総会と全国大会への参加、匠の技の研
修会ぐらいですが、各地区連とネットワークを結びな
がら、要請があればお互いに協力する体制を整えてい
ます。

……農業体験や食育出前講座とは具体的には？

私が所属している地区連鈴鹿では、学校での食育
や農業体験に力を入れています。地元産のものを消
費者に分かっていたきたいという思いから始めまし
た。最近は全国的に学校も食育に力を入れてくれる
ようになりましたが、私たちは平成13年から取り組ん
でいます。

食育講座のプログラムとして、主なものは大豆
の栽培とその加工ですね。大豆栽培を体験して
もらい、その後、収穫した大豆を使って豆腐や味
噌、きなこなどをつくります。

そのほか、三重県産小麦粉「あやひかり」がど
ても美味しいので、もっと知っていただきたい
と思い、うどんづくりを講座に入れました。

農業体験としてはジャガイモ、さつまい
も、大根、里芋などの収穫体験が多いで
すね。

……講座はどのような場で行われる
のですか？

小学校や地域の公民館の講座のほ

か、男の料理教室、親子料理教室、その他にもJA主催
のイベントに参加したり、鈴鹿の場合はバルーンフェ
スティバルであられ煎り体験などを行いました。Agri
ロマン三重を知ってもらうために、イベントにはなるべく
参加するようにしていますが、私たちは地元の農業、
農作物を広めたいという気持ちで行っていますから、
たとえば三人ぐらいの少人数の集まりにも何うように
しています。

……消費者の安全・安心への思いは強いですか？

今の若いお母さんたちは子どもたちには安心な物を
食べさせたいし、いろいろな体験もさせたいと思ってい
ます。でも、自分たちがづくり方を知らないし、怪我の
ことを考えると子どもに料理をさせるのは怖い。

キッズ料理教室を開いた時は、保護者には全員外に
出してもらって、手を出させないようにしました。その代
わり、子どもたち一人ひとりにスタッフがつかいました。
地元の農産加工品である梨ソースを使った野菜焼き
や海苔巻きなど、5種類ぐらいのコースに分かれてつく
りましたけれど、自分でつくったものですから、子ども
たちは喜んで食べてましたよ。

……キッズ料理教室のアイデアは豊田さんが？

いろいろ考えますね(笑)。キッズ料理教室を募集し
ますと三歳から申し込んできますので、できるだけ火
を使わない物をとか、その辺りまで気を配ります。印
象的だったのはあられづくり体験。あらかじめ作って
おいたお餅をあられ状に切っていくと、どうしても端っ
こが余るでしょう？昔は「生焼き」と言って、それをコン
ロや火鉢で焼いて食べたものです。それをキッズ料
理教室でも出したら大人は「懐かしい」、子どもは「美味
しい」って大好評でした。今の子どもたちは、そんな物
を食べるのは初めてですものね。そういうのが楽しい
のかって、やってみて初めてわかりました。

自分の名刺から始まった女性の自立

……農産加工品の開発について教えてください。

例えば梨農家では、形が悪い、傷があるなどの理由
で廃棄していた梨を使って、焼き肉のタレや梨ソース、
梨ジャム、梨シャーベットなどを作っています。そのほ
か、味噌、お弁当、お菓子などたくさんの製品がありま
す。これらの加工品を利用して、県内各所で起業が始
まっています。女性の起業を応援しようという県や市
が協力してくれます。

もちろん、Agriロマン三重としても協力しています。
販売する加工品を作るには加工所を建て、資格を取る
必要があります。昔は市町村が加工所を建ててくれ
ましたが、今はもう行政には頼りません。それぞれが
起業して頑張っていますし、支援を受けた所は責任を
感じていますから、売上げも伸びています。

最初は妻の活動に対して不満を感じていた家庭も、
売上げが上がってくると、連れ合いが運搬係をかって
出てくれるようになりますよ。

……生活改善というのは女性の地位向上と密接に関
わっているようですね。

今でこそ男女共同参画の時代ですが、私たちはそん
な言葉も知らない20年前から自分の名刺を持つよう
になりました。外に出て行った時、連れ合いの名前では
なく自分の名前を出すためにです。最初は手書きで



作りましたね。それが男女共同参画の一番最初だったのじゃないかと私は思っています。

……農家の生活自体も変わってきましたか？

「家族経営協定」というのを進めていて、グループ員の中でも何軒か結んでいますね。これは休日や給料、仕事の分担などを各家庭で仕事がやりやすいように家族の間で取り決めを結ぶことです。Agri ロマン三重の講習会に参加することも、「出張」にすれば参加しやすくなりますよね。実際、消毒の講習会など仕事に役立つものですから。

……反対の声は？

年配の男性から「家の中で給料なんて」という声もありますが、今までは家長がお金を管理していて、子どもの給食費でも毎月、「お願いします」と頭を下げてもらっていたものです。でも、女性もきちんと働いているのですから、自由に使えるお金をもらうのは当たり前です。勉強会にしても、昔なら男性が勉強してきて、家族に作業を指図するのが普通でした。でも自分で勉強すれば、女性も自分で考えて動けるようになります。

……女性にも発言力がある、大きな進歩ですね。

30年前から取り組めていれば、今、私がやっている農業も、もっと変わっていたかもしれないと思います。県内の仲間が産業功労賞をいただいたり、農業委員やJAの理事、農村女性アドバイザーなどにメンバーが就くことも増え、世間に認められてきていると感じています。

非農家のメンバーを獲得

……Agri ロマン三重全体の動きは？

年に一回、総会を行っています。総会員数約130名のうち、毎回60数名が集まります。「この日だけしか市外の人とは会えないから、ぜひ会って話したい」という気持ちみたいです。

もちろん、役員としては皆が集まってくれるよう企画も考えています。外部から講師を呼ぶだけでなく、メンバー間で、わらじづくりやしめ縄づくりの技術を学びあいましたし、平成20年からは県内の視察研修を行っています。平成21年は大台町宮川村を訪れ、農家民宿を見学しました。「都会の人はこんな感じに憧れるんだ」とか、「自分たちの所でもできそう」とか、いろいろな意見が出ました。もちろん、お弁当などは訪問先の地区連で作っていただいて、その収益になるように考えています。

……全国組織との関係は？

年1回の全国大会には、会長だけしか出ていなかったのですが、今は視察研修という形にして、貸し切りバスで参加しています。全国各地の人と会って話しをすると同じ漬物や味噌でも味付けやつくり方が違ったり、生活や文化の違いが勉強になりますし、いろいろな情報が入ってきて、自分たちにとっても大きな刺激になります。また、他県の話の聞くと、三重県が大変豊かな恵まれた地域であるということも実感します。

……今後の課題は？

一つは役員のなり手がいないことです。役員は1期2年ですが、私が約6年、会長をしています。私が会長になった時は、前会長が副会長を数年務めて、助けてくれました。ピラミッド組織では普通、ありえないで



出前講座 ねぎクレープづくり



農業体験 サツマイモほり

すよね(笑)。それだけ組織がフラットになっているのですが、高齢化によるグループ員の減少が切実です。

二つ目は運営資金です。行政からの支援も無くなりましたし、県主催のイベントも無くなって、そこでの事業収益がなくなりました。今は基本的に、会費収入だけです。各地区連で、出前講座や農業体験で収益を出して欲しいのです。

出前講座の講師が特定の人に限られるのも悩みですね。モノをつくるのはみんな私より上手につくれるのですが、人前で話すのが難しい。私は普段から出歩いているから、手より口の方が動くけど(笑)。話し方の講習などを受けてもらうことも必要でしょうね。講師が増えれば、それだけ分散して教室が開けますから、収益もあがりますね。

お金に関してもう一つ思うのは、この活動はボランティアじゃないということです。皆、仕事を休んで参加してくれているのですから、いくらかでも日当をお支払いしています。活動を長く続けて行こうと思ったら、それは必要でしょう。

……他には？

やはり、会員の減少です。高齢化もありますし。でも、若い人を誘っても「束縛されたくない」と言われますね。「イベントなどには、時々、誘ってください」という声もありますが、自分の母親やお姑さん世代と一緒に活動するのは「ちょっと…」というのがあるみたいで難しいですね。

……人を増やす戦略は？

兼業農家の方のうち、勤め先を定年退職された数人が「何かできれば」と言ってくれていますし、農家以外の方も数人、参加してくれています。これからは農家以外の方もメンバーに迎えていきたいですし、女性だけでなく男性も勧誘していくつもりです。そのため、出前講座や男性の料理教室の時などにお声がけもしています。

これからもグループ活動を通じて、自分たちが楽しくやっていることを強調していきたいですね。

【データ】

513-0001 三重県鈴鹿市広瀬町543
Tel. & Fax. 059-379-1048
E-mail toyo0223@mecha.ne.jp
●代表者 豊田栄美子
●団体設立年月日 昭和50年7月
●会員数 130名
●会費 1000円

年一回の全国大会には、会長だけしか出ていなかったのですが、今は視察研修という形にして、貸し切りバスで参加しています。

豊田栄美子

ひろげる・つなぐ・かえる

みなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

認定NPO法人制度

先ごろ、中間支援組織担当者ネットワーク交流会の場で「認定NPO法人制度とその仕組み」について名古屋国税局の担当者からお話しいただきました。平成22年1月1日現在の認定NPO法人数は全国で111法人【国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)】あり、三重県では1法人もありません。平成21年11月30日現在のNPO法人数38,806人と比べると、認定NPO法人は極めて少ないことが分かります。

福祉、環境、子育て、国際などさまざまな分野で活動の輪を広げているNPO法人を支援するため、市民や企業からの寄附を促す税制上の仕組みとして平成13年に認定NPO法人制度が設けられて以来、パブリック・サポート・テスト等の要件の緩和や認定の有効期間の延長等、申請手続きの負担軽減などが図られています。認定NPO法人制度そのものを知らないNPOもあるかもしれませんが、寄附文化の成熟していない日本で、どれだけ活用されているかは上記の認定NPO法人数を見れば明らかでしょう。

認定NPO法人に認定されたからといって、信用度は増すことになっても、寄附がどんどん増えるというバラ色の夢は、あまりに現実を直視しない楽観的の見方であると言わざるを得ません。現に交流会の席でも、申請書類にかかる労力を考えれば認定NPO法人を取得したいとは思わない、認定NPO法人を取得することによって法人の認知度は上がるが、寄附者にメリットがある制度であってNPO法人にメリットがある制度ではないので、それほど魅力的ではなく積極的に取り組んでいく気にはならないといった意見が出ていました。これからまだまだ改善の余地がある制度という意味で、各地域でも認定NPO法人制度について学び、論議をしていく必要があるということ話し合いました。

税制改正の議論の中で少しずつ積み上げられてきた現在の制度です。認定NPO法人の申請を「行う、行わない」にかかわらず、制度を前向きにとらえ、NPO法人の信頼性を高めるため平成21年から市民参加により始まったNPO法人会計基準づくりの論議とともに、今後とも見守っていきたいと思っています。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市 ●みえ市民活動ボランティアセンター / 津市市民活動センター / 三重大学 / 看護大学 / 三重短期大学 / 高田短期大学 / (有)デザインオフィス萩野 ●桑名市 ●桑名市市民活動センター ●いなべ市 ●いなべ市市民活動センター ●東員町 ●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市 ●四日市市市民活動センター / みえチャレンジプラザ / 四日市大学 ●亀山市 ●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市 ●市民ネットワークすずかのぶどう / 鈴鹿国際大学 / 鈴鹿医療科学大学 ●松阪市 ●松阪市市民活動センター / 三重中京大学 ●伊勢市 ●いせ市民活動センター / 皇學館大学 ●鳥羽市 ●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●志摩市 ●志摩市市民活動支援センター / 横山ビジターセンター ●名張市 ●名張市市民活動支援センター / エコリソート赤目の森 / 名張市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇學館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター ●伊賀市 ●伊賀市市民活動支援センター / ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター / 伊賀市中央公民館 / 伊賀市立図書館 / 上野青年会議所 ●尾鷲市 ●東紀州コミュニティデザインセンター ●明和町 ●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町 ●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町 ●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】

県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】

百五銀行各店 / 第三銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店 / メディカル

【行政機関等】

三重県庁県民ホール / 三重県地域機関(各県民センター [桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) / 三重県栄町庁舎(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フロンテみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県鳥羽パート情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA / JA三重信連

re70 PRINTED WITH SOY INK 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。